

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	八成れいんぼう				公表日	令和 8年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		感染対策を講じて利用児同士の距離を保つように、毎回動線を考慮して配置換えをしている。	人数により手狭に感じることがあるため、配置を工夫する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		利用児数+1人の職員配置を目安とし、看護師は利用児2名に1人の配置としている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	こどもの特性や必要に応じた配置、室温・湿度の調整などの配慮をしている。	収納場所が少ない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		活動内容によって工夫して空間を取るようになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	カーテンや仕切りをして個別の空間を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		非常勤職員がほとんどのため、月1回の職員会議にて反省点として意見を出し合って見直しを行い、職員連絡ファイルを活用して情報共有に努める。	全員参加が難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		保護者へのアンケート調査を行ったあと、年度末の職員会議で認識のすり合わせをしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		ミーティングにより情報共有し、提案や改善点などを話し合える機会がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		第三者評価は、未受審である。今後の検討課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		都や区の研修案内がある時は、提示している。日総研主催の研修案内もこまめにチェックしている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		昨年より作成、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		職員会議内で各専門分野別の話し合いをおこなっている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		職員会議内で利用児童の現状報告をおこない支援内容について相談している。	非常勤職員が多いため、共通理解の時間が設定しにくい。会議議事録の紙面で欠席者には内容の確認を行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		個別支援計画に記載されている内容が常に把握できるように利用児童の記録ファイルに挟んでいる。	全職員への共有は、不十分。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2		アセスメントツールの活用ができていないため、今後の検討課題である。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		5領域に基づいて計画を作成している。提供すべき支援については、追加していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		職員会議や業務前打ち合わせの際、行っている。	

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		職員会議で他職種とコミュニケーションをとり、気付いた点を意見合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		個別活動は、季節に応じたものを、集団活動では、ふれあい体操や楽器演奏等を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		業務前の打ち合わせで、本日の活動予定、担当児童の確認、送迎時間、添乗看護師、乗車児童確認を行っている。（報・連・相）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		業務終了後に、反省会をおこない、一人一人の記録をとっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		個人ファイルに看護師、保育士それぞれの視点からの記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		個別のモニタリングの時期に従っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11		4つの活動すべて組み合わせて支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		保護者とのモニタリング時に子どもの支援についての話し合いを行い、個別支援計画に記載して職員とともに自己決定をする力を育てよう努めている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		会議の案内が来た時は、児童発達支援管理責任者が参加する。	参画の機会がほとんどない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		医療的ケアの変更を伴う退院時などには、ケア会議に参加し、今後の対応について、話し合っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		連絡調整はできているが、学校に年間計画等の提出はしていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		利用開始前に担当の区の職員、相談支援事業所と会議を行ったり電話にて情報共有をしている。来年度に利用予定児童が通っている施設にも見学に行く予定である。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		今年度初の卒業生がいるため、次年度利用予定のサービス事業所の職員が数回訪問に来て、保護者の同意を得て、情報提供をした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		区から案内がある研修を職員に周知している。こども発達センターのP.T.が事業所での研修を実施してくれている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5		利用時間が短いためなかなか交流する機会を作れていない。長期休暇中を利用して、関わる機会を作ろうと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	不明5		自立支援協議会の委員ではないが、医療的ケア児検討部会の委員であるため、情報を得る機会がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			看護師からは、送迎時、連絡帳、電話で状況を伝えている。児童発達支援管理責任者からは、日常ケアや個別支援計画に基づく計画について相談をしている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		外部からの研修案内チラシがある時は対象家族へ案内をしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			利用開始前の契約時に、重要事項説明書・契約書・利用のしおりを使って説明を行っている。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			モニタリング時に意向の確認をおこなっている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		モニタリング時に個別支援計画を提示し、同意を得て、署名をもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		保護者からの当事業所へのケアについての要望等について保護者とともに相談しながら整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	5		計画は立てているが、実施に至っていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		保護者からの苦情等については、丁寧に対応し、職員間で共有しているノートを通じて発信。事案について検討し、次回への対応を職員で相談している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		月に一度通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		書類は鍵のついたロッカーに保管している。来訪者があるときは、個人情報になるものは布などで覆って見えないようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		子どもに対しては、時間を要しても反応を待つようにしている。保護者には、記録だけでなく直接伝えるように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	4		重症児で感染のリスクも高いため、オープンにはしていないが、今後近隣地域との関わりも増やしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		マニュアルの策定をし、定期的に訓練を実施して、その都度見直しをしている。	マニュアルは整備されているが、全職員や保護者への周知が図れていないので、周知方法を計画している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		業務継続計画の策定をし、年に一度計画の見直しをおこない、訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		年度初めに保護者に書類記入してもらったものから個人ケア表を作成し、再度保護者に確認をとっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		摂食時は食事場所を分離し、職員が一对一で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	感染症対策訓練、防災訓練は定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	緊急時引き渡しカードを年度初めに提出してもらっている。保護者へは、避難場所を明記したものを渡している。避難訓練をした際は報告をしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハットが起きたときには、些細なことでもヒヤリハット報告書を記入し、他の職員にも情報共有して、今後の改善策については事業所内会議にて話し合う機会を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		事業所内研修にて、年に1度研修の機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		生命に関わる緊急時の安全確保の時に身体拘束を必要とするため、個別支援計画に記載している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 八成れいんぼう

公表日 令和8年 3月 2日

利用児童数

18

回収数

12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1		毎回動線を考慮して配置替えを行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・療法士・嘱託医の配置基準の上、利用児プラス1人以上の職員、利用児2名に1人以上の看護師でケアにあたっている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			3		エレベーターを利用するため、車椅子で移動できない箇所は、ない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			2		活動内容によって工夫して空間を取るようになっている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1	S.T.さんも入れていることでありがたいと思っている。	個別支援計画に基づいて支援を行っている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		今年度よりホームページにて掲載している。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				年代に応じて、又成長に伴う変化を組みとっていただいていると思う。	半年に一度のモニタリングで見直しを行っている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1				個別支援計画に盛り込んでいます。モニタリングの際にご説明しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					保育士ミーティング、各保育士が得意分野でプログラムを立てている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1	10		放課後の時間が短いため、長期休暇を利用して、交流を検討したい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					契約時に説明をしている。重要事項説明書に記載されている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					モニタリングの際にご説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		6	デイサービスでは特に求めている内容なので個人的には必要ないと思う項目である。	チラシを配布して、案内をしている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					連絡帳やメールを通してお伝えしています。また送迎の際にも体調の伝達をおこなっています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					半年に一度モニタリングの機械を設けています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	2	9	全体としてのニーズは不明なので、イベント等の開催は無理にしくなくても良いとは思いますが個人的には開催希望。	保護者会の開催ができていない。時期についてのアンケートをとったままになっている。検討事項である。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		不安なことや疑問点があった時はいつでも連絡をください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12					月に一度れいんぼうだよりを発行している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2		鍵のついた書庫で管理している。来客時は個人情報が見えないように布なので覆っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			4		マニュアルは準備しているのでご安心ください。訓練も年に計画を立てて行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2		年に2回行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		今年度は防災訓練を4回実施した。散歩を兼ねて避難経路の確認を行うようにしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		2	事故等が今までないのでどちらともいえない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			1	学校に行くより楽しみにしている気がする。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				いつも大変助かっている。ありがとうございます。	

事業所名

八成れいんぼう

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

13日

法人（事業所）理念		医療的ケアを必要とする状態でも安心して過ごせる場所。ご家庭と学校と連携を取り個々に応じたケアを提供いたします。		
支援方針		利用児童の自己決定権の行使を支援します。利用児童の尊厳を護ります。利用児童の暮らす「社会」を共に創ります。		
営業時間		平日 14:00～18:30 長期休暇・学校休業日 10:30～16:30	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	医療的ケアが必要なお子様には、主治医指示書を基に看護師がケアを実施します。お子様の体調に合わせた環境設定を行い、快適に過ごせるように支援します。		
	運動・感覚	感覚や認知の特性に配慮します。手のひらや足の裏を刺激することで自分の体の一部を認識できるよう「ふれあい体操」を通してお子様に関わります。		
	認知・行動	活動をとおして、物の名前、友だちの名前や顔が認識できるように、絵カード等を使用して繰り返し声かけをします。屋外活動では、季節の移り変わりや地域の様子を見たり感じたりできるようにします。		
	言語・コミュニケーション	一人ひとりの発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。自分の気持ちをサインや指差し、表情で伝えようとしていることを見逃さないようにします。		
	人間関係・社会性	同年代の集団活動の中で他児を意識できるように、呼名する時は、お互いの顔が見えるように配慮します。法人内の高齢者施設と交流をします。 家族と離れて短期入所ができるように助言します。		
家族支援		家族が身近な地域の中に安心して過ごせるようレスパイト支援や助言をおこないます。		
移行支援		各関係機関と連携を図り、卒業後やその他移行先にスムーズに移行できるように情報提供をします。		
地域支援・地域連携		地域の学校や、すぎのこ農園（農福連携施設）、すぎのき生活園（障害者生活介護通所施設）との交流を図ります。		
職員の質の向上		虐待防止研修の実施、外部研修（杉並区施設間体験研修等）に参加し、事業所内職員会議で研修報告をおこない、職員のスキルアップに努めます。		
主な行事等		七夕、夏祭り、やってみるんだ展への出展、ハロウィーン、クリスマス、節分、ひな祭り、お誕生日会		